

小麦づくり情報 6月号

村山総合支庁 農業技術普及課

今年の小麦の出穂期は5月8日頃で、平年より2日ほど遅くなりました。

出穂以降、気温はやや高く経過したため、収穫期は平年並みと見込まれます。

出穂後の積算気温を参考に収穫適期を判断し、収穫、乾燥・調製の準備を進めましょう。

1 収穫適期に刈取りましょう！

- ・小麦成熟期(＝刈取開始期)の目安は、『**出穂期後40～45日、出穂後の積算気温725℃**』です。
- ・下表を目安に、小麦の子実水分(目安は30%以下)や子実の成熟状況を確認し、収穫適期に入ったら速やかに刈取り作業を行いましょう。

成熟期から3～4日が最適期

遅くとも10日以内には刈取る

◎ 積算気温から見た収穫適期の目安

	日平均 気温	出穂期(全穂数の40～50%が出穂した日)						
		5/5	5/6	5/7	5/8	5/9	5/10	5/11
6月17日(火)	20.3	717	702	691	681	668	653	638
6月18日(水)	20.4	737	722	712	702	688	673	659
6月19日(木)	20.5	757	743	732	722	709	694	679
6月20日(金)	20.6	778	763	753	743	729	714	700
6月21日(土)	20.8	799	784	774	763	750	735	721
6月22日(日)	20.9	820	805	794	784	771	756	742
6月23日(月)	21	841	826	815	805	792	777	763
6月24日(火)	21.1	862	847	837	826	813	798	784
6月25日(水)	21.3	883	868	858	848	834	819	805
6月26日(木)	21.4	905	890	879	869	856	841	826
6月27日(金)	21.5	926	911	901	891	877	862	848
6月28日(土)	21.7	948	933	922	912	899	884	870
6月29日(日)	21.8	970	955	944	934	921	906	891
6月30日(月)	22.0	992	977	966	956	943	928	913
7月1日(火)	22.1	1,014	999	988	978	965	950	936
7月2日(水)	22.2	1,036	1,021	1,011	1,000	987	972	958

※ 日平均気温：6/5までは実測値、6/6以降は平年値を使用 (アメダス山形)

※ 小麦の収穫時期は梅雨期間中にあたる可能性が高いため、収穫のタイミングを逃さないようにしましょう。

※ 刈り遅れると、赤かび病被害粒の増加や黒カビ粒・穂発芽粒の発生による品質低下、二次加工適性であるアミログラム最高粘度が低下し、商品価値が下がります。

◎ 小麦の成熟期の判断

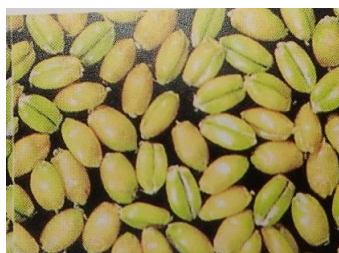
遅くとも成熟期から10日以内には収穫を終えましょう！

- ・穂と穂首が黄色くなっている ・子実の青い溝が5～10%に低下
- ・子実がロウ程度の硬さになっている ・穂首がポキッと折れる



成熟期

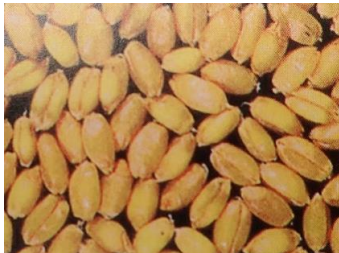
◎ 成熟期前後の小麦子実外観の目安



早い

成熟期前 4 日

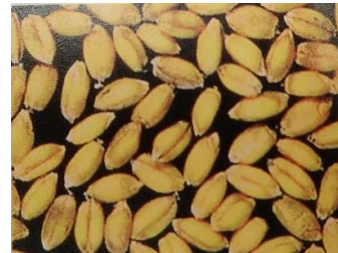
子実水分約 40%



最適

成熟期後 3 日

子実水分約 30%



やや遅い

成熟期後 10 日

子実水分約 12%

- ・降雨等で子実水分が30%以上の高水分麦を収穫せざるを得ない場合は、損傷粒の発生を防ぐためコンバインの扱胴回転数を低め（450rpm程度）にしましょう。また、収穫した子実は速やかに乾燥機に張り込んで循環通風しましょう。

2 乾燥調製は穀温に注意して丁寧に！

- ・収穫後は、ただちに乾燥機に張り込んで常温通風するか、張り込めない場合はシートに広げるなどして、穀温上昇による劣化を防ぎましょう。
- ・乾燥中の穀温は35℃が目安です。送風温度は、初期は55℃を上限として、子実水分18%程度になった段階で50℃程度としましょう。穀温が40℃以上になってしまうと、熱によってタンパク質やデンプンが劣化し、品質低下につながります。

3 収穫前後も赤かび病防除の対策を徹底しましょう！

- ・赤かび病は2回防除を徹底しても、その後に断続的な降雨が続くと発生リスクが高まります。収穫前に赤かび病の調査を実施し、発生ほ場が確認されたら、無発生ほ場と区分して収穫・乾燥・調製しましょう。
- ・刈り遅れにより降雨に当たると、赤かび病の進展や、デオキシニバレノール（DON:赤かび病の毒素）の産生を助長する原因となるため、適期（子実水分30%以下）になり次第、速やかに収穫しましょう。赤かび病が発生した圃場や雑草が繁茂した部分は別刈りを行い、良質な小麦への混入を避けましょう。
- ・収穫後、乾燥する間に赤かび病菌が増殖し、DONが産生される可能性があるため、可能な限り速やかに乾燥機に張り込みましょう。
- ・赤かび病被害粒の対策として、粒厚選別と比重選別を併用し、被害粒を除去することが有効です。

農作業事故を防ぎましょう!! みんなで声を掛け合い、農作業事故をなくしましょう！

「熱中症」対策も万全に！